

# 1. 調査報告概要表

## [認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成20年1月29日

### 【評価実施概要】

事業所番号	2773300906
法人名	社会福祉法人 ヒューマンライツ福祉協会
事業所名	高齢者グループホームなでしこ
所在地	大阪市西成区長橋3丁目6-33 (電話) 06-6568-0669
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 20年 1月 18日

### 【情報提供票より】(平成 19年 12月 20日事業所記入)

#### (1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 2月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	6人
職員数	8人	常勤 5人, 非常勤 3人, 常勤換算	7人

#### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	7階建ての	3階 ~	3階部分

#### (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	37,000円	その他の経費(月額)	17,000円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300円	昼食 400円
	夕食	600円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

#### (4) 利用者の概要 (平成 19年 12月 20日現在)

利用者人数	6名	男性 0名	女性 6名
要介護1	0名	要介護2	3名
要介護3	2名	要介護4	1名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 82歳	最低 70歳	最高 98歳

#### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	浅井クリニック、浪速生野病院
---------	----------------

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

社会福祉法人が、民間集合住宅の2室を統合改造し、6名定員の小規模なグループホームを運営しています。この法人は近隣で特養、在宅介護支援センター等を運営しています。「この事業所は、認知症状をお持ちの居住者が、今までに馴染んだ生活環境・生活習慣・人間関係を継続する家庭的な雰囲気の中で、症状の緩和を図り、<その人らしい>心身の力を発揮して安楽な日々をお過ごし頂けるように支援致します」を理念として掲げ、利用者が安心してその人らしい生活を続けられるよう家族、職員、地域住民が共に支えています。職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、やさしい雰囲気で接しています。

### 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)</p> <p>前回の外部評価で示された事項について改善が進み、職員は申し送り帳を確認後、必ずサインをするようになりました。またできるだけ利用者の希望にそった入浴時間帯や回数を選べるようにし、職員の計画的な研修に努めるほか、家族の意向を取り入れた介護計画作りをしています。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は、管理者の素案をもとに職員と話し合いながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は地域包括支援センター職員、ネットワーク委員、地域の代表、法人の特養施設長、家族、利用者の参加のもとで、3~4ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの活動状況、利用者の生活ぶり等について報告し、意見を求めています。認知症の勉強会も実施しています。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えています。利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。毎月、利用者の生活ぶりや体調について管理者が手書きの手紙を書き、写真、金銭出納帳のコピーとともに家族に送付しています。家族とは面会時だけでなく、定期的な介護計画作成前にも話し合いの場を持ち、家族が思いや希望、不満を表せるように対応しています。また意見箱も設置し、家族の意見が表せる機会を設けています。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>利用者はホーム真向かいの公園での地域の盆踊りや夏祭りに参加し、老人憩の家でのふれあい喫茶にも参加する等して、旧知の人とも交流を図っています。週に1回はホームを訪ねて、利用者とのお茶を楽しむ地域の高齢者もいます。近隣保育園の運動会にも出かけています。また地域のボランティアがギター演奏にきています。</p>

## 2. 調 査 報 告 書

(        部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「この事業所は、認知症状をお持ちの居住者が、今までに馴染んだ生活環境・生活習慣・人間関係を継続する家庭的な雰囲気の中で、症状の緩和を図り、＜その人らしい＞心身の力を発揮して安楽な日々をお過ごし頂けるように支援致します」を理念として掲げ、利用者が安心してその人らしい生活を続けられるよう家族、職員、地域住民と共に支えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を明文化し、ホーム内に掲示されています。月2回のスタッフ会議や毎日の業務を通じて、管理者と職員は理念を共有し、介護サービスに反映させるよう話し合っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	利用者はホーム真向かいの公園で開催される地域の盆踊りや夏祭りに参加したり、老人憩の家でのふれあい喫茶にも参加する等して、旧知の人とも交流を図っています。週に1回はホームを訪ねて利用者とのお茶を楽しむ地域の高齢者もいます。近隣保育園の運動会にも出かけています。また地域のボランティアがギター演奏にきています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で示された事項について改善が進み、職員は申し送り帳を確認後、必ずサインをするようにしています。できるだけ利用者の希望にそった入浴時間帯や回数を選べるようにしたり、職員の計画的な研修にも努めたりしています。また家族の意向を取り入れた介護計画作りをしています。自己評価は、管理者の素案をもとに職員と話し合いながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は地域包括支援センター職員、ネットワーク委員、地域の代表、法人の特養施設長、家族、利用者の参加のもとで、3～4ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの活動状況、利用者の生活ぶり等について報告し、意見を求めています。会議内で認知症の勉強会も実施しています。	○	運営推進会議の開催頻度は、概ね2ヶ月に1回、もしくは年6回開催することが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は大阪市の担当職員やケースワーカー、『あんしんさぼーと事業』（地域福祉権利擁護事業）のサポート職員と相談を行い、サービスの質の向上に取り組んでいます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えています。利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。毎月、利用者の生活ぶりや体調について管理者が手書きの手紙を書き、写真、金銭出納帳のコピーとともに家族に送付しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時だけでなく、定期的な介護計画作成前にも話し合いの場を持ち、家族が思いや希望、不満を表せるように対応しています。また意見箱も設置し、家族の意見が表せる機会を設けています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が退職する場合は、法人の協力を得て職員の補充を行い、採用時の研修やトレーニングも的確に実施されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の計画的な研修に取り組み、外部研修や月2回の法人内研修に参加し、定例のスタッフ会議内でも看護師を交えて勉強会を行っています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	「大阪市グループホームネットワーク」に加入し、研修会や交流会に参加しています。今年から西成区の「グループホーム連絡会」を自主的に立ち上げ、相互の見学や交流をスタートさせています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者や家族にホームに来訪してもらい、入居前には職員も施設や家庭を訪問しています。日中や一泊生活体験を家族も含めて複数回してもらうことにより、馴染みの関係を作り、家族や本人の不安を取り除き、安心して入居し、サービスを受けられるよう取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごし、元お好み焼き屋を営んでいた利用者等に家事などを通して、学び支えあう関係を目指した支援を行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式の記入がすすみ、利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握ができています。息子のお見舞い後、自宅に立ち寄り、飼い犬に会いに行く利用者を支援したり、畑作業をしたり、利用者の希望に応じた支援を行っています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式によるアセスメント情報や利用者の現在の暮らし、心身の状況を把握するとともに、看護師を交えて家族の意向を聞き、利用者や家族の意向・願いを反映した介護計画を作成しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的には3ヶ月毎に、また状態の変化がある時はその都度見直しを行っています。3ヶ月毎のモニタリング結果をもとにケアカンファレンスを行い、家族の意向も入れて介護計画の見直しを行っています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、法人の看護師やスーパーバイザーにも相談し解決を図っています。必要により通院介助も行っています。法人内施設での各種行事には職員とともに参加しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関の医療を受けていますが、診療科目によっては入居前からのかかりつけ医（医療機関）に引き続き医療を受けています。協力病院と連携し、夜間や急変時の対応についての体制も整備されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホーム内で看取りを行った経験もあり、利用者の入居時にはホームで看取り支援を行っていることを家族等に伝え、意向の確認をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。職員は採用時に個人情報の取り扱いについて法人と書面を取り交わしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急がしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。朝の起床が苦手な利用者にはそのペースが保てるよう支援しています。		



外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食、職員が調理をしています。買い物から下ごしらえ、食事準備、盛り付け、後片付け等の一連の作業に利用者も得意な分野で参加し楽しんでいます。職員は同じものを食べながら、利用者の食べ方の混乱や食事介助のサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しくなごやかな雰囲気を作っています。寿司などの出前（月2～3回）や外食（月1～2回）を楽しんでいます。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者は通常週に2～3回夜間にゆっくり寛いだ入浴ができています。希望すれば毎日でも入浴することができます。手足の新陳代謝が悪い利用者には、入浴日以外の夜寝る前に手浴、足浴を行っています。また、その他の利用者でも要望がある場合は、快く対応しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は一日の生活の中で家事にそれぞれの役割を見つけ、分担し合いながら張り合いのある生活を送っています。リビングに自分で生けた花を飾り季節感を演出する利用者、カラオケ、編み物、近隣住民の来訪者とお茶や会話を楽しむ利用者等、利用者一人ひとりに役割や楽しみごとの支援を行っています。その他、毎月欠かさず利用者全員で季節感を盛り込んだ「貼り絵壁飾りパネル」をつくる支援もしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	1日1回の外出をモットーにし、日常的にホーム真向かいの公園への散歩や商店街、スーパーでの買い物に出かけています。月に1回、行事を計画し、季節の花見や大規模公園への遠足、大衆演劇見物、外食会にも出かけ、年2回の温泉一泊旅行を実施しています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関のドアは日中開放されており、チャイムがなるセンサーで利用者の外出等を察知しています。暖かい季節には、扉を開放しています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策として年1回の避難訓練を消防の指導で行っています。非常・災害時のための食料品と水の備蓄については、現在特別な対応はありません。	○	災害対策のマニュアルを定め、年2回の避難訓練をすることが求められます。非常・災害時のための食料品と水の備蓄をすることが求められます。また備蓄については「非常用備蓄マニュアル」等の取り決めを作成してはいかがでしょうか。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事摂取量と水分摂取量を把握し記録をとっています。栄養バランスについては、法人特養の管理栄養士よりアドバイスを受けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	マンション3階にあるホームの玄関入口前の廊下には季節の花が植えられ、内側には装飾品が飾られ訪ねやすい雰囲気となっています。リビング兼ダイニングルームには機能的に家具調度品や道具類を配置し、季節の花や観葉植物が飾られ、毎月製作する貼り絵の壁掛けパネルと共に季節感にあふれ、家庭的で落ち着いた雰囲気になっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室入口には、利用者の思い思いの綺麗な表札やのれんがかかっており、利用者は洋服ダンスや整理ダンス、収納ケース、書棚付き机、椅子、鏡台、仏壇、手作り作品、多くの家族の写真、時計等使い慣れた、馴染みのある物を持ち込んでいます。また、ベランダで花を育てたり、利用者一人ひとり用の写真がついた手作りカレンダーや綺麗な手作りのアルバムを見ながら安心して過ごせるよう取り組んでいます。		